

3月定例会

3月定例会は3月6日から27日までの会期で開催されました。
提出議案はすべて原案どおり可決・決定されました。

議案

【町長提出議案】

木曽広域連合と木曽郡内町の事務委託に関する規約の制定について

木曽広域連合の事務の一部についての事務委託規約の制定です。

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
一般職の職員の通勤手当の額を引き下げる改正です。

南木曽町消防団条例の一部改正について

機能消防団員制の導入に伴い、消防団員等公務災害補償等責任共済の掛金及び消防団員退職報奨金支給責任契約の掛金の基となる団員の定数を定める改正です。

南木曽町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、配偶者以外の扶養親族全員の加算額が200円から217円に引き上げられたものです。

南木曽町立小学校・中学校施設整備基金条例の制定について

小・中学校の施設等の整備を目的とした事業のために基金を積み立てるものです。

南木曽町地域社会教育施設の設置及び管理運営に関する条例の制定について

南木曽町地域社会教育施設（旧妻籠小学校施設など）の設置及び管理運営に関する必要事項を定めたものです。

南木曽町屋外運動施設等の設置及び管理運営に関する条例の制定について

南木曽町の屋外運動施設（与川運動広場など）の設置及び管理運営に関する必要事項を定めたものです。

南木曽町福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の一部改正について

健康保険法施行令の一部を改正する政令の施行に伴うものです。

平成20年度電源立地地域対策交付金事業小型動力ポンプ付積載車購入について
小型動力ポンプ付積載車1台の購入に伴う議決です。

平成20年度簡易水道量水器購入について
簡易水道量水器825個の購入に伴う議決です。

財産の処分について
妻籠地区旧教職員住宅の土

地、建物を財団法人妻籠を愛する会へ売却することに伴う議決です。

請願・陳情

【総務文教常任委員会附託審査分】

南木曽町博物館の指定管理者制度に関する陳情書

提出者

財団法人妻籠を愛する会
理事長 小林 俊彦

結果

継続審査

雇用と住居など国民生活の安定を確保し、労働者派遣法の見直しを求める意見書の採択を求める陳情

提出者

木曽地区労働組合会議
議長 森山 直保

結果

採択・意見書送付

ソマリア沖への海上自衛隊派遣の中止を求める意見書の採択を求める陳情

提出者

木曽地区労働組合会議
議長 森山 直保

結果

不採択

社会保険料に人头割はふさわしくない 介護保険料を所得比例中心に変更することを求める陳情

提出者

長野県社会保障推進協議会
代表委員 熊谷 嘉隆

坂本 隆久 鈴木 信光

高村 裕 松澤 秀紀

結果

不採択

社会保険料に人头割はふさわしくない 所得割重視の国保税（料）を求める陳情

提出者

長野県社会保障推進協議会
代表委員 熊谷 嘉隆

坂本 隆久 鈴木 信光

高村 裕 松澤 秀紀

結果

不採択

同意

固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて

固定資産評価審査委員会の委員に青木則昭氏（吾妻33番地の1）を選任することに同意しました。

木曾広域連合議会報告

木曾広域連合議会第1回定例会が2月23日に開催され、条例議案6件、補正予算3件、平成21年度当初予算3件、その他議案4件が原案どおり可決されました。

平成21年度木曾広域連合当初予算 (単位：千円)

会計区分	21年度	20年度	比較
一般会計	2,795,838	2,728,240	67,598
木曾寮特別会計	205,436	207,169	1,733
介護保険特別会計	3,437,195	3,196,685	240,510
総計	6,438,469	6,132,094	306,375

松塩筑木曾老人福祉施設組合議会報告

松塩筑木曾老人福祉施設組合議会2月定例会が、2月20日に開催され、条例議案2件、補正予算議案1件、平成21年度当初予算1件、報告議案2件が原案どおり可決決定されました。

国有林対策特別委員会報告

3月4日、木曾森林管理署南木曾支署管内の国有林で実施された事業についての管内視察を行いました。

当日は、雪まじりの小雨が降る中でしたが、現地視察を行い、北蘭国有林内の林道中ノ沢線新設事業と南沢復旧治山事業について支署長から説明を受けました。

林道中ノ沢線については、遅れた森林整備を推進するため開設するもので、5力年計画で進められ、初年度となる平成20年度は400mの開設が行われました。脆い地質の中、災害防止施設等を施しながら整備されています。南沢復旧治山事業について



林道中ノ沢線開設現場

は、平成19～20年度に施工され、南沢の崩壊と堆積土砂の流出を防ぐため、山腹工と谷止工を行ったものであります。その後、南木曾支署会議室において意見交換が行われ、田立の滝復旧治山事業の進捗状況の説明を受けるとともに、併用林道の改良、治山工事の積極的な推進等を要望しました。

(国有林対策特別委員会
委員長 勝野春喜)

一般会計補正予算

40,609千円を追加

総

額

38億272万4千円に

会計別補正予算

(単位：千円)

会計	補正額	補正後の金額
南木曾町一般会計(第9号)	40,609	3,802,724
南木曾町国民健康保険特別会計(第5号)	5,430	497,977
簡易水道事業特別会計(第6号)	4,856	443,415
南木曾町営妻籠宿有料駐車場特別会計(第3号)	223	50,873
南木曾町老人保健特別会計補正予算(第2号)	3,784	86,334
南木曾町下水道事業特別会計(第5号)	934	84,511
南木曾町農業集落排水事業特別会計(第5号)	751	75,714
南木曾町浄化槽市町村整備推進事業特別会計(第5号)	3,891	98,174
南木曾町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	1,693	71,045

一般会計補正の主なもの

(単位：千円)

事業名	金額
減債基金積立金	70,057
簡易水道特別会計繰出金	6,200
南木曾町立小学校・中学校施設整備基金積立金	9,650

平成21年度 予算編成方針（要旨）

地方自治の流れは、国が示す「基本方針2006、2007、2008」に基づき「地方の自立と再生」「安心実現のための緊急総合対策」に沿って進められています。

「自己決定・自己責任」の考えのもとに、「地方の自立」を促す方向で進めており、町もその流れの中から漏れることなく弾力的な施策の推進が求められています。

南木曾町は、自立の町選択5カ年の節目を迎え、自立推進計画最終年度となります。計画の基本方針「住民との協働の推進」「行財政改革の推進」「自立に向けた施策の方向と重点事業」3本の柱に沿った事業を着実に実施するとともに5カ年間の事務事業評価と第2次自立推進計画策定に向けた取り組みが課題となっています。

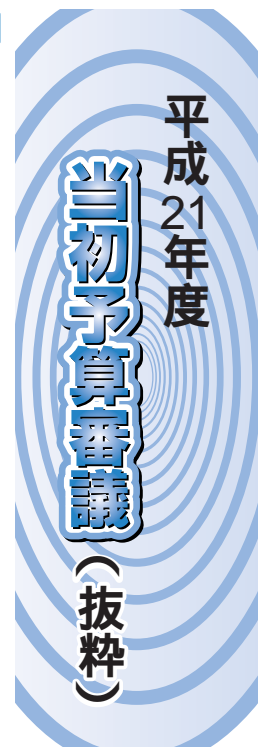
また、急速に進行する少子高齢化と人口減少時代の到来などを受け社会経済は大きな転換期を迎えており、医療、福祉、教育、産業など住民生活に関わりの深い様々な分野

で多くの課題に直面しています。

長い歴史の中で築き育まれてきた南木曾町が健全に持続的発展を遂げるため「豊かな自然・文化と笑顔のひろがる町」を基本理念に掲げて策定した「第8次長期基本計画（後期基本計画）」は2年目を迎えます。

すべての町民の皆様が、安心安全で住み良い明るい町を享受していただけますようこれら諸計画の着実なる実施に向けて、たゆまぬ努力を続けてまいると共に、百年に一度と言われる不景気で町民の皆さんの苦しさを推察し、どうにもならないときまで使用料等町民の皆さんの負担増を行わない所存であります。

平成21年度当初予算案は、平成20年度補正予算と一体的に編成し、切れ目なく事業に取り組みとともに、第8次長期計画の着実な推進を図ること、そして持続可能な財政構造の構築に向け、さらなる財政の健全化を進めることなどを基本として編成しました。



Q 山崎隆二議員

町道島の平線の改良に関して、役場南側の建物を取り壊して町道側の見通しをよくする考えはありますか。

A 経済観光課長

土地は借地です。調査はさせていたがたい。

Q 松原弘吉議員

小・中学校で不登校があるということですが人数等把握していますか。

A 教育長

小学校はありません。中学校は20年度で4人ということですが、学校との連絡を密にして対応しております。

Q 松原弘吉

民生費で75万8千円人権啓発活性化事業委託金とありますが、町としてどのような事業をやるのですか。

A 住民課長

20年度から人権啓発活動ネットワーク事業を木曾郡で町村が順番に実施することになっています。21年度は南木曾

当初予算審議 (抜粋)

町が当番です。南木曾小学校に花を育てていただき、公共施設等へ配布して全町的に人権啓発活動を推進していく事業です。その他には人権啓発講演会を計画しています。

Q 伊藤金吾議員

松葉沢の河川改修ほどの程度の予定ですか。

A 経済観光課長

松葉沢については、町管理の河川ですので年次計画で毎年10メートル程度できればと考えています。他に、町管理の準用河川の中で堆積土の除去の要望を地元からいただいていますので重機使用料等含めて計上しています。場所は蛇抜沢、北沢、梨子沢、大沢田等で順次行う予定です。

Q 伊藤金吾議員

地区以外の団体が草刈り等の作業をした場合に補助金を出してもらうことはできますか。

A 経済観光課長

現場を見せていただき対応をしていきたいと思えます。

Q 伊藤伸三議員

国の補助制度を活用して新交通システムを拡張できませんか。

A 総務課長補佐

国交省関係の補助金への要望が2倍になったということと21年度は交付が少なくなるということが心配されます。今後の動向によっては一般会計への負担が出てくること予想されます。



Q 伊藤金吾議員

シルバー人材センター運営補助金224万円は前年と変わっていませんが、非常に仕事量が少ない、若い方にも仕事がない中で人材センターに仕事をもっていかれてしまうのではないかとということもできています。縮小等将来にわたって検討すべきでないですか。

A 住民課長

シルバー人材センターの運営は、国庫補助等を受けて高齢者の生きがいと雇用確保を進めている事業です。町としては当面人材センターが存続する限り郡下足並み揃えて町も協力していくべきものと思います。仕事の内容や請負のあり方等は、登録されている方の可能な範囲での仕事と理解しています。また、人材センターも運営の経費等削減に努力されています。ご指摘のご意見をつなげていきたいと思えます。

Q 高橋進議員

シルバー人材センターの補助は同じようにされますか。他町村の考えはどうですか。

A 住民課長

人材センターの補助金は今年度も同様に計上していま

す。

Q 高橋進議員

人材センターに登録した方が緊急雇用対策事業にも登録したいといった場合に、二重登録が可能ですが。

A 住民課長

65歳以下で募集を考えています。できるだけ重複のないようにと考えています。

Q 高橋進議員

緑の募金、衛生自治会費等区割りで来ているものについて、区の運営交付金をもらう代わりに町で納めてもらったほうが手間がかからないので検討できませんか。また、募金額の割り当てがありますか。

A 副町長

区の運営交付金は区の運営のために町が交付するお金であり、募金や衛生自治会費等を町が差し引いて支払うという趣旨のものではないとご理解ください。

A 住民課長

募金はあくまでも努力目標です。会費については登録されている方が対象と理解しています。

Q 高橋進議員

緑の募金はどのように使われますか。

A 経済観光課長

募金は木曾郡の緑化推進協議会でお預かりして各町村の事業へ補助として交付されます。南木曾町ですと、昨年はみどりの少年団の活動補助、町の植樹祭の費用、苗代、募金活動事務費としていただいています。

Q 勝野春喜議員

直接支払制度が21年度も3千万円ほど計上されていますが、21年度で終了ということですか。

A 経済観光課長

第2期目の5年間で終わるのが21年度ということですが、それ以降については計画はされると聞いていますが、具体的な形で正式に国・県からは来ていません。今後お知らせします。

Q 勝野春喜議員

和合地区蛇抜沢の国直轄砂防堰堤計画の進行具合はどうなっていますか。

A 経済観光課長

蛇抜沢・北沢・大水上沢の三溪流については、直轄砂防事業、治山事業の調査をしていただきました。その結果、蛇抜沢は直轄砂防と県の治山事業、北沢と北沢支系については治山事業で対応するとい

うことで進んでいます。新年度早々には県治山事業の地元への説明会を開催できるかと思っています。直轄の事業については若干事業着手が遅れるということ、25年くらいが目標で計画をしています。

Q 鈴村邦也議員

4月から新しい職員3名を迎えますが、何名応募されましたか。

A 総務課長

全部で10名です。大卒が4名、短大1名、高卒5名です。採用は大卒1名、高卒2名です。

Q 鈴村邦也議員

児童遊具の修繕場所はどこですか。

A 住民課長

児童遊具の修理は20年度から順次行っており、21年度は8箇所予定しています。その中でも状態の悪いものから修理を計画しています。

Q 麦島悦司議員

庁内LANの機器更新、LWANの更新それぞれ何年目ですか。

A 副町長

庁内LANについては年次計画にそって更新しています。20年度で若干仕様を新しくしてサーバー等を更新しま

したが、予算はリース料が主であり、LWANは木曾広域連合とも関係していませんが、国のシステムにつながるためのサーバーで今年度リースに変更したことで金額が下がっています。

Q 麦島悦司議員

庁内LANはパソコンを年次のに数台ずつということですか。

A 副町長

端末機については購入年度等が違いため計画的に更新をしています。

A 総務課長補佐

予算の中では全てリース料ですので、その中にパソコンの使用料も入っています。



町政を問う

8人の議員が質問

町道東町下線開設について計画を伺う



高橋 進

質 町道東町下線は地区のみなさんをはじめ地権者、保育園関係者からの40数年にわたる開設要望があり、町道として認定されたところです。しかし、財政の都合等により21年度実施計画から取り残されました。そのことは私も承知していますが、今回国の「地域活性化、生活対策臨時交付金事業」で他の事業が前倒しで実施されることになり、地域としましては開設の遅れに不安を感じているところでもあります。町長は前回の選挙の折「町道東町下線の開設を約束された」と私は受け止めています。5年過ぎた今日、姿が見えませんか。21年

度予算には1,050万円計上されていますが、計画を伺います。

答 町の方針として学校建設を優先してきました。また、町道島の平線の改良が優先されたのは国道の交差点改良による準備であります。遅れていました木曾川右岸道路の土捨場として活用しながら今年度当初から工事を始めます。契約、交渉事が主であり、地元には説明不足もありましたが、ご理解願いたいと思います。今年度の予定は物件補償をしながら（家屋の除去）右岸道路川向工区の土捨場として4月頃から工事を始めます。実施計画では22・23年度に読書保育園まで行き止まりではあります。開設を予定しています。関係するみなさんのご協力をお願いします。

意見 遅れてはいますが、県の事業を活用して費用の軽減を図ったことは評価できます。三留野地区には住宅用地も多くありません。「道と水

道」があれば人は住めます。地区の長年の要望であり、町の活性化も期待されます。一日も早い開設をお願いします。

町職員の給与について



鈴木邦也

質 お断りしておきますが公務員タタキをするつもりは有りません。町職員は町民の福利向上と町の発展を担うシンクタンク（頭脳集団）であります。公僕であるがゆえに、待遇が悪いからといってストライキは起こせません。従って、それを補うために人事院勧告があり、民間と照合して適正に給与等が設定されています。しかし、南木曾町という地域の給与環境を鑑み、最終的な給与案は町長の裁量に任されています。ともあれ、経済不況というご時世町職員の給与と仕事振りに対して町民の羨望と不満はより多くなつてきます。その辺りの認識に乖離があるとすればそれを

どう埋め、町民にどう理解してもらおうのか伺います。

答 町では自立元年には職員給与をカットする等努力してきました。またその時の職員定数を22年度で83人にするという人員整理も一定の方向を示され現在に至っています。事務事業の増加に加え退職者の増加等で1人当たりに対する仕事の量は確実に増えています。一応そのような中でも人事院勧告や近隣町村の動向を勘案して現在の給与になっています。21年度に関しては、他町村において実行される勤務時間の短縮は人事院勧告によるものですが、当町は組合の了承を得る中実施していません。職員の仕事に対する意欲を喪失させないためにも、今現在では景気の悪化等で財政の見通しに余程の事態が起きない限り、現行で進めて参りたいと思います。

質 当町のラスパイルズ指数は94と聞いています。木曾6町村の中では3番目に低い。次に視点を変えて、いわゆる地方公務員の「天下り」と「わたり」について伺います。天下りはともかく、「わたり」については国と内容が違うようですが、田中康夫前長野県

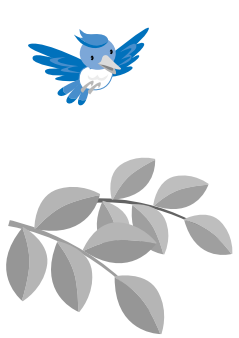
知事によると、県においては定年退職間際の職員に対して温情で昇給させる給与調整があったということですが、南木曾町ではこうした事実はありませんか。

答 無原則に行われた事実は有りません。過去については承知しておりません。

質 「通勤手当」について伺います。住民票が町内にあるのに実際の住居は町外のため、町外分の通勤手当をもらっている職員が数名居るようですがこれはどういうことでしょうか。

答 個人的な事情もあり届出により通勤の実態に合わせて支給しています。

意見 いずれにせよ町民に分かりやすい説明は必要です。全治3年の日本経済と言われています。町職員もこうした状況への意識をきちんと持ち仕事に精進してほしいと思います。



暮らしの実態について



松原弘吉

質 相次ぐ増税や社会保障の改悪で平成20年だけでも13兆円平成14年度からの7年間で50兆円に近い大負担増となっています。その上に米国発の金融不況を理由にリストラ、倒産、収入減で生活苦は日ごとに増えています。町民生活の実態、雇用の状態、相談窓口などの対策について伺います。

答 暮らしはかなり厳しく雇用状態は非常に厳しい。事業主の離職は郡内で85社206人です。

子育て支援について

質 少子高齢化が進み、人口も5千人を割ろうとしています。町活性化には子育て支援が大切と考えます。第3子以降の保育料の無料化、出産祝金8万円、入学祝金やチャイルドシート購入費の助成等、安心して生み育てられる環境

づくりに力を注ぐべきと考えます。

答 中学生までの福祉医療費の支援等進めています。新たな対策は考えていません。

意見 地域活性化・生活対策臨時交付金1億1千万円の活用で浮く前倒し事業と地域雇用創出金や基金を有効に使えば充実した子育て支援ができます。

質 小中学生のいる家庭を対象にした就学援助制度について伺います。

答 経済的理由によって就学が困難だと認められる児童生徒に対して学用品や給食費等を補助する制度です。

質 就学援助制度の周知徹底方は。

答 先生等関係者が生活実態を把握しているので広報等ではしていません。

質 新保育制度は直接契約方式の導入や保育士の数や施設の広さなどを定めた最低基準を規制緩和の方向で検討されていますが。

答 待機児童と民間運営の保育のあり方なので町には影響がありません。

介護保険制度の改訂について

質 第4期事業計画の周知方法について伺います。

答 3月30日に説明会を計画しています。

質 保険料はどうなりますか。

答 現行平均月額3,620円が平成21年に4,030円、平成22年に4,090円、平成23年に4,150円に引き上げられます。

質 要介護認定方式が変わりますが問題はありますか。

答 調査項目が少なくなり、要支援1・2、要介護1はコンピュータによる第1次判定だけの認定となります。

質 厚生労働省は新しい基準を用いた聞き取り調査では一次判定が軽度に出る傾向があると答えています。その影響について伺います。

答 まだ新認定方式で調査していません。

意見 一人ひとりの利用者にとっては死活問題です。周知を徹底すべきです。

質 特養老の待機者について伺います。

答 南木曾町は47人、郡内では210人です。

町長施政方針について



伊藤伸三

質 木曾病院の療養病床24床は残すべきと考えますが。

答 県へ要望していきます。

質 施政方針で、「世界的金融危機による経済危機で不況が押し寄せ、100年一度の未曾有の事態で、一自治体で先を見通すことも不可能、対策も限界」と述べています。しかし、それでは町政を預かる立場として心細い限りです。また、地方は「自己決定・自己責任」でやっていくと言う事ですが、財源移譲と分権という国の責任に触れてもいけません。これでは、「地方は自分達でやりなさい」という小泉内閣の進めた構造改革の路線と同じで、これは「地方切り捨て」の国の言うままという事ではないですか。

答 先の見通しは不明なことほどこの町村も同じと思えます。大変な中だからこそ町民の安心安全を第一に町民負担

第二次自立推進計画について

増のないよう努力します。

質 外需だのみの経済がいかにゆがんだ経済だったかと言うことです。「先の見通しも対策もない」では現状確認がズれているのではないですか。

いまこそ「福祉やくらし、山村を大事にすることが必要」と町民に呼び掛けるのが当然だと強調したい。また、高齢者や主婦などの失業も増えています。役場に「雇用対策なんでも相談窓口」を作るべきではないでしょうか。

答 「雇用相談窓口」は検討します。

質 第一次自立推進計画は、町民負担増、補助金削減に力点をおいた「健全財政」中心の町づくりでした。第二次計画は「健全財政」中心のみでなく、「元気のでる町づくり」へ力点を置き、検討の仕方も住民懇談会ばかりでなく、各種団体間でも「どういう町にしていくか」などのシンポやフォーラム・講演会も取り入れて「住民参加」を重視すべきではないでしょうか。また、一次計画の評価も「事務事業

紹介してはどうでしょうか。
答 今後の検討課題として考えます。

質 富山県知事と長野県知事が今年1月「木曾義仲公」の大河ドラマ化の要望をNHKに行っていますが、南木曾にもゆかりの地があります。町の考えはどうですか。

答 木曾町を中心に両県で運動していることは知っていません。今後実現されるようなら町としても参加して情報発信していきたいと思えます。

町長施政方針について



山崎隆二

質 町の景観の維持向上のため、落石防止等の公共事業を発注する際には景観樹木の植樹を仕様に入れる等の永続的な取組みが必要ではないですか。

答 そのような継続的な対応は必要と思えます。

質 製造業中心の不況で、子育て世代への支援が必要です。国の「子育て応援特別給

付金」とは別に、対象外の子にも手当てを提案したところ、町単独で子育てであったか支援として、町の商品券を半額支給する予算が出されませんでした。しかし一時金だけでなく、賃貸住宅の家賃の軽減、共稼できる環境づくり、雇用就労機会の創設が必要ではないですか。

答 家賃軽減は措置によって対応可能です。共稼ぎは未満児保育・延長保育で対応します。臨時の雇用も少数募集します。

質 超高齢化社会になる中で、施設介護の体制整備が必要ではないですか。

答 介護計画で定めませんが、今は特養施設の新築計画はありませんが、介護予防と在宅介護を中心に展開したい。

質 南木曾町小中学生の全国学力テストの傾向を伺います。

答 中学生は国語・算数とも全国平均がそれ以上です。小学生は国語・算数の平均がやや低いのが応用問題は県平均です。

質 基礎学力の向上の方策を検討していますか。

答 小学校の算数では、宿題や夏休みに補習を実施してい

ます。生活実態調査の結果、学習時間が少なく、家庭での学習習慣づけが必要と考えます。

質 小学校五・六年で英語授業が始まるがその対応を伺います。

答 年間35時間の英語指導助手(ALT)の派遣を来年から10~15時間増やす予定です。全てALTで対応でなく、担任が英語の授業を行うようになりま

質 交流学生の制度の導入は構想にありますか。

答 国際化社会では重要と考えます。かつて米国やドイツの町並み保存をしている都市との交流の話もありました。国の「アジア青年の家」の制度もあ

質 地域振興協議会ごとのまちづくりに対し、今以上に情報提供、予算配分、職員派遣等の支援が必要と思えますか。

答 自立計画の三本柱はまちづくり会議、広報紙、住民懇談会です。地域づくり支援策で350万円予算化したが、要望の総額は130万円少なかった。もっと積極的に活用していただきたい。

質 自立推進で住民の士気が低下したとの声を多く聞きま

答 自立推進計画の策定には多くの人が係りました。士気の低下は不況の影響と思えます。マラソン大会、スポーツ少年団、福祉NPO法人、清酒「鷺娘」の復活等に期待

質 和合地区の團原家は、石垣を含めて文化財として価値が高いと評価されているが、その保存活用をどう考えていますか。

答 昭和48年以来調査してきましたが、有識者と協議するなど検討中です。和合の中山道の途上に團原家を保存する意義はあると考えます。

小学校統合から2年を経過したが、その成果と今後の課題は



麦島悦司

質 教育長は小学校統合前に、教育次長として尽力をされました。ゆえに南小への思

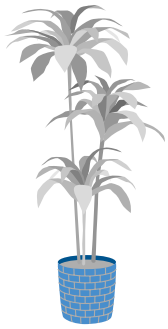
い入れも強いと思えますが、新教育長となった今、改めて今後の方針を含めて考え方を伺います。

答 まずは、この2年間、子どもたちが、元気にのびのびと明るい学校生活を送っていることに、保護者、地域の皆さんに感謝申し上げます。成果としては次のことがあげられます。 少人数学級が解消され、グループ学習ができるようになりました。多くの子どもたちが接することにより、人間関係も広まったと思われ

ます。また、スポーツでも九つのクラブが発足しました。1学年に複数の教員を配置することにより、教員間で刺激を受けたり、学年会で教材研究ができるようになりました。 町内各地域を課外授業や行事などで知ることができました。 財政効果については、スクールバスの委託料増額があったものの、全体では2,800万円程度の減額となりました。

質 町一つとなった今、子どもたちには町内をできるだけ学習してもらい、「南木曾のすばらしさ」の価値観を共有できるように小学校教育を求め

ます。



答 今後の課題にもなりますが、各地域とのつながりが薄れてしまうことのないように、田立のお茶摘み、ろくろ細工体験、各地域への遠足などを積極的に取り入れていきます。

質 新教育長として、これからの学校運営の考え方を伺います。

答 少人数教育はひとつの理想でもありますが、児童同士の切磋琢磨による人間としての資質の向上や学校での集団活動の観点から前向きに取り組んでいきます。課題もありますが、学校、保護者、地域の皆さんとも相談しながら、子どもたちのことを第一により良い方向へ進めていきます。

意見 リーダーシップを期待します。

議会の動き

(1月・2月・3月)

平成21年 1月の行事

- 5日 王滝村稗田議長葬儀
- 8日 議会報編集委員会、県立木曽病院の地方独立行政法人化に向けた説明会
- 11日 南木曽町消防団出初式
- 18日 議会初詣、新年会
- 22日 妻籠宿有料駐車場監査
- 26日 議会運営委員会
- 27日 例月出納検査、議会報編集委員会、町村議会広報研修会
- 29日 木曽広域連合議会経済観光常任委員会視察

2月の行事

- 1日 第32回南木曽町公民館大会
- 5日 蘭地区火災出動
- 9日 中津川市・南木曽町・大桑村医療懇談会
(坂下病院についての懇談会)

- 10日 第1回臨時議会、全員協議会、議会運営委員会、経済観光常任委員会
- 11日 五宮神社祈年祭並びに建国記念祭
- 16日 木曽広域連合議会運営委員会・福祉環境常任委員会
- 18日 小中学校定期監査、木曽農協南木曽支所組合員総集会
- 19日 国土交通省「防災とまちづくり講演会」、床浪荘監査
- 20日 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会2月定例会
- 23日 木曽広域連合議会、木曽郡町村議会議長会
- 24日 第2回臨時議会、議会運営委員会
- 26日 例月出納検査
- 27日 長野県町村議会議長会第8回定期総会

3月の行事

- 3日 桃介橋河川公園組合監査、国保運営協議会
- 4日 国有林対策特別委員会
- 5日 蘇南高等学校卒業証書授与式
- 6日 定例議会、議会運営委員会、総務文教常任委員会、全員協議会
- 9日 保育所定期監査、水田農業推進協議会、「ごうどの家」開所式
- 13日 森林の里親調印式
- 17日 南木曽小学校卒業式
- 18日 南木曽中学校卒業式
- 19日 定例議会再開、議会運営委員会、総務文教常任委員会、全員協議会
- 23日 定期監査(工事業務)、蘇南高等学校送別会
- 25日 例月出納検査
- 27日 定例議会再開、議会運営協議会、全員協議会

編集後記

南木曽町は、桃や桜やツツジが同じ時期に見られる。

平成21年の冬は、地球温暖化を肌で感じるほど暖冬だったが、三寒四温を繰り返して、ようやく春になった。

新入学児童生徒、新入社員、新会計年度のスタート等、四月は「新」の字が多く用いられ、日本の風物詩にもなっている。

しかし、昨年初ころから始まった景気の後退は深刻さを増しつつあり、「病氣」の回復にはまだまだ時間がかかりそうである。

将来の生活動向や年金をはじめ先行きの不透明さが、これに拍車をかけている。「こうすれば、こうなる」との見通しを立てにくいのが一番の問題だ。

ただ、こんな時だからこそ「新」の付くことを何か一つ始めてみることも、人生で大切なのかもと思う。

「病は氣から」とも言われる。直接の病気の源への対処はもちろんだが、現代はむしろストレスがその主要な誘引になっているようだ。何か新しいことに取り組もう。「新しいことは」相対的に見れば、今までのものを見直すことにほかならない。

議会報編集特別委員会

山崎隆二(記)

麦島悦司

松原弘吉